

エネルギーマネジメント ーエネルギー貯蔵・輸送技術の評価と システムのグランドデザインー

浅野 浩志

エネルギーマネジメント担当イノベーション戦略コーディネータ
電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター 研究参事
東京工業大学 特任教授
東京大学大学院 客員教授

2018年6月22日
SIP「脱炭素社会実現のためのエネルギーシステム」
第1回推進委員会

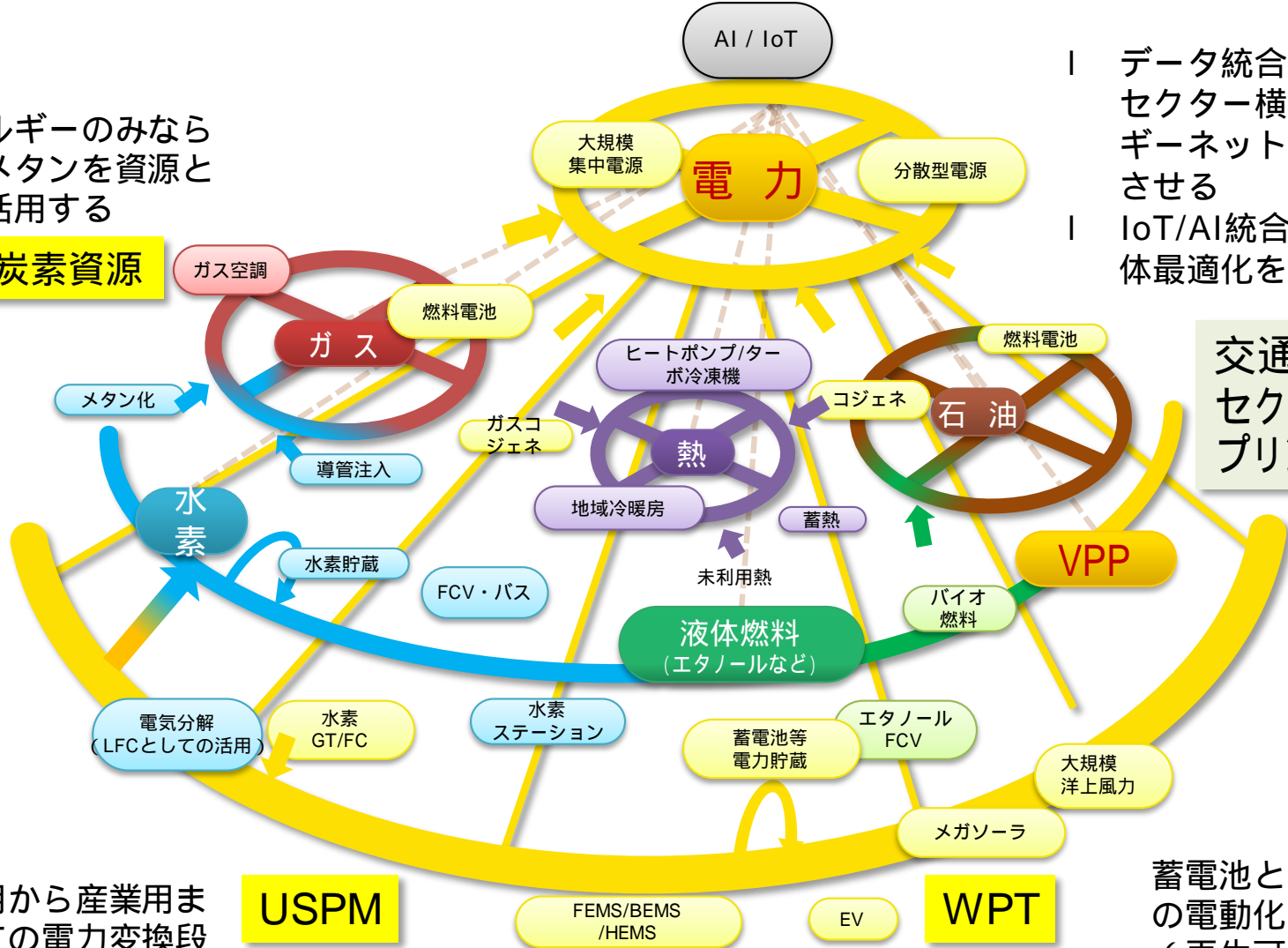
エネルギーマネジメント研究会(予定)

- u 目的：本SIPで2019年度以降、実施する技術課題(ボトルネック課題)を特定し、グランドデザインを取りまとめて公表する。
- u 目標：脱炭素社会を支えるエネルギーシステムにおいて、System of systemsとして、運輸部門を含む統合的なエネルギーマネジメントのグランドデザインを目指す。
- u 2018年度の目標：エネルギー貯蔵、輸送技術の統合的な評価を、変動電源の出力調整の観点を含め行う。この評価を踏まえて、重要な課題群とその解決の方向性を提言する。
- u 2019年度以降：産業および交通部門の脱炭素化などを検討対象とする。

将来の脱炭素型エネルギーネットワークのイメージ： 電力、熱、ガス、石油、水素など適材適所で活かす

エネルギーのみならず、
メタンを資源として活用する

革新的炭素資源



- データ統合を活かして、セクター横断のエネルギーネットワークへ進化させる
- IoT/AI統合制御による全体最適化を目指す

交通系との
セクターカッ
プリング

住宅用から産業用まで全ての電力変換段階で組み込まれる

蓄電池とともに車両の電動化と脱炭素化（再生可能エネルギー利用）を加速する

出所：電力中央研究所報告C16011を基に作成